

# ケベックのハイスクールの教育課程

## 文部省派遣海外教育事情視察報告 第三報

小倉幸春

カナダの教育制度は、州ごとに違うが、ケベック州では、ながらくフランス系住民とイギリス系住民がそれぞれ別個の教育体系をもっていた。1960年、突然「静かな革命」が動き出し、新しいケベック政府は、まず教育制度の飛躍的近代化に着手し、2つの文化と言語を融合させるため、1964年州教育省を置き、この2つの教育体系を1つに統合することになった。だが、今なお現実に、プロテスタント地区には、プロテスタント教育委員会 Protestant School Board の下に英語学校 English-language schools が、カトリック地区には、カトリック教育委員会の下にフランス語学校があつて、制度上両者は同一になったが、運営上依然として分離している。

万博とオリンピックによって日本にも知名なモンリオールのある、ケベック州の学校教育制度は、6・5・2・3制の小学校—ハイスクール—カレッジ—大学という体系である。中等教育は、7—11学年の在学期間5か年の高等学校、別称セカンダリースクールで行われる建前であるが、現実には、旧制度の名残りから、8—11学年の在学期間4か年のハイスクールもある。この、ケベック州の中等教育のカリキュラムについて、制度と運営、すなわち州教育省制定の学習指導要領と現実の高校の実施例の、両面から見てみたい。

### モンリオール・ウエスト高校の教育課程

モンリオール・ウエスト高校は、カナダ最大の都市モンリオールの都心から約10キロ西のプロテスタント住宅地区に位置し、小学校・幼稚園から一貫教育の学校で、8—11学年の高校に生徒数が約7百、その教員が45名である。同校の進学率は約70%と高い。これは、同校の学区が、社会的地位の高いイギリス系住民のなかでも恵まれたところである、ことの反映である。なおモンリオールの高校卒業者のカレッジ進学率は平均55%である。この学校は、高校としての適正規模よりやや小さく、ために理想的なカリキュラムの展開、とくに職業諸コースの開設に不利であるという。

モンリオール・ウエスト高校の、High School Courses 1972—73によって、この学校の1972/73年度の全教育課程を記述する。

#### I 総 則

##### 学校時刻 school hours

8:30	教師が教室へ行く	8:35	生徒が教室へ行く
8:40	ホームルーム時間 homeroom period		
8:50	第1限 first period	9:35	第2限
10:20	休憩 recess	10:35	第3限
11:20	第4限	12:05	解散 dismissal

12:55	教師と生徒が教室へ行く	1:00	ホームルーム
1:05	第5限	1:50	第6限
2:35	第7限	3:20	解散
4:30	建物清掃		

現在の時刻表編成では、毎日45分授業が7時間あり、生徒の時間割は2日ごとに繰返えされる。これを2日周期Two Day Cycleとよぶ。2日間14授業時間のなかで学科subjectに割当てられる時間が違う。ある学科は1授業時間を、あるものは2時間を、あるものは3時間さえ当てがわれる。以下の記述中に使われる、次の名称に注意してほしい。

- フルコース Full Course - 2日ごとに2授業時間、すなわち毎日1時限
- ハーフコース Half Course - 2日ごとに1時限
- 1コース半 Course and a half - 2日ごとに3時限

違う学科に時間の長さを変えることによって、より幅の広いカリキュラムが、大多数の生徒に提供されることができる。

必修および選択科目のなかからカリキュラムを編成することが、次に残る。そのさい、以下の条件に合致する生徒に州教育省から授与される州卒業証明書 Provincial Certificateの目標がある。すなわち

高校5年卒業証明書は18単位unitを集めてしまった志願者に与えられよう。現在、最小10単位が、高校5年の科目として指定される諸科目の中になければならない。これらの単位は、国語教育のなかに最小4を、そして州教育省によって実施される第2国語試験において最小4を、含まねばならない。生徒も親も、一部の州試験が4年末に、他のものが5年末に書かされることを、記憶しておくべきである。

今年の特徴としては、全生徒にある数の「趣味 interest」科目を提供していることである。これらの科目をできるだけ多彩にすることが計画される。かくて、どの生徒も興味を刺激しそして特別な能力を満足さす何かを発見するであろう。すべての趣味科目はハーフコース相当である。いくつかの趣味科目は3つの群に相互連絡させられ、この場合、各科目が12週間にわたり、そして3科目全部合わせて1つのハーフコースに等しい。このことは、趣味科目に関する節においてもっと詳細に説明される。

しかしながら、多種類の選択科目や趣味科目は、十分な数の生徒がそれらの科目を取得するため選択する場合にのみ、開設されることができる、ということが指摘されねばならない。

この記述中では、学年段階が次のように表わされる。すなわち

高校1年 Secondary 1	= 7学年 Grade	高校2年	= 8学年
高校3年	= 9学年	高校4年	= 10学年
		高校5年	= 11学年

#### A 必修科目 Compulsory Courses

「英語」	フルコース	4か年必修
「フランス語」	フルコース	4か年必修
	追加ハーフコース	高校4年間に2か学年に必修。注意 1972/73年度には、それは全2年(8学年)生および全4年(10学年)生に必修である。

1971/72年度に2年または4年であって、この時期にこの追加ハーフコースを取得しなかった生徒は、1972/73年度にそうしなければならない。

「歴史」	フルコース	全2年(8学年)生に必修
	フルコース—カナダ史—	全4年(10学年)生に必修
「数学」	フルコース	全2年(8学年)生に必修
「体育」	ハーフコース	全2, 3, 4年(8, 9, 10学年)生に必修

#### B 選択科目 Elective Courses

2年(8学年)生は、2フルコース乃至2フルコース半相当の選択科目を選択しなければならない。

3年(9学年)生は、3フルコース乃至4フルコース半相当の選択科目を選択しなければならない。

4年(10学年)生は、2フルコース乃至3フルコース相当の選択科目を選択しなければならない。

5年(11学年)生は、最小3フルコース、望ましいのは4乃至5フルコース相当の選択科目を選択しなければならない。

#### C 趣味科目 Interest Courses

大部分の生徒は、その高校時代を通して毎年最小1つの趣味科目を取得できるであろう。一部の生徒は、難しい進学プログラムに従ってまったく趣味科目を取らない方を選んでよい。選択はかれらのものである。だれも趣味科目を取ることを義務づけられない。

各生徒の決定がどうであれ、必修・選択および趣味科目の合計が、2日週期に7フルコース相当とならねばならない。生活指導部または管理当局の先生は、各生徒の選択の初歩を教えてくれるであろう。

#### D 科目の段階 levels

科目は正規 Regular 段階および一般 General 段階として提供されるかも知れない。一般科目は3年(9学年)以前に提供されない。一般科目は、正規科目と同じく、州の高校5年卒業証明書に導き、そしてある特別な場合に GEGEP への入学資格を生徒に与えるかも知れない。

若干の類型づけ streaming がある学科のある段階になされるかも知れない。そのような場合に生徒は教師の勧告のもとに各種の類型へ方向づけられるであろう。

#### E 科目選択の生徒指導

大学、職業学校、その他の教育施設およびある職業は、特殊な高校プログラムを要求するであろう。生徒は、かならず役に立つ科目を取得することができるよう、選択科目の選択について、ガイダンス・カウンセラーに相談することが望ましい。

## Ⅱ 必修科目

#### A 英語

- 註
- 「英語 122」 2年
  - 「英語 131, 132」 3年
  - 「英語 141, 142」 4年
  - 「英語 151, 152」 5年

この学科は、4年間毎年必修のフルコースであり、そして(i)文学、(ii)言葉と作文、の題目 heading のもとで考究されるであろう。

(i) 英文学 この科目の目的は、古典および現代の、文学価値のある幅広く多種類の教材に、生徒を親しませることである。書物は違う文学能力段階に応じて準備するように選ばれる。詩、散

文、創作、ノンフィクション、戯曲がこの科目の学習中にすべて説明され、そして幅広い文学の読書が要求される。

(ii) 英語と作文 この科目のこの分野は、英語を書きそして話す技術を発達させることを目的にし、しかも綴字、文法および作文を含む。それは生徒に、文学の規準についてのある認識を与え、そして創作力を助長すべきである。

註 「 」の中は科目の名称。各科目は3つの数字からなるコードにより表示される。

#### B フランス語

- 「フランス語 222, 212」 2年
- 「フランス語 231, 232」 3年
- 「フランス語 241, 242」 4年
- 「フランス語 251, 252」 5年

毎年必修のフルコース。これらの科目全部が、フランス語を話し、そしてかなり容易に読み書く能力を、発達させることを目的にする。「フランス語 231, 241, 251」は、フランス語を理解し話すことにより重点がおかれ、フランス語を書くことには強調がより少い。

注意：2年（8学年）になる全生徒はフランス語の追加ハーフコース1つを取らねばならない。

3年（9学年）になる全生徒は、もし2年で取っていないならば、フランス語の追加ハーフコース1つを取らねばならない。

4年（10学年）になる全生徒はフランス語の追加ハーフコース1つを取らねばならない。

5年（11学年）になる生徒は、もし4年で取っていないならば、フランス語の追加ハーフコースを取らねばならない。

中から選択がなされるべき、ハーフコースの一覧表は63頁にある。

#### C 歴史

- 「歴史 322」 2年

全2年（8学年）生のための必修ハーフコース。この科目の目的は、歴史用語、歴史家の役割および文明の成長に、生徒を親しませることである。この科目は、原始人や古代文明の物語、ギリシア人、ローマ人、封建制世界、ルネッサンス、宗教改革および世界の主要宗教を取扱う。

- 「歴史 342, 341」 4年

これはカナダ史にすべて当てられるフルコースである。全4年（10学年）生に必修。この学科に最終州統一試験 Provincial Examinationがある。

#### D 数学

- 「数学 422」 2年

全2年（8学年）生のための必修フルコース。この科目は、近代数学で使われる術語、初等代数の基本的演算および幾何の基礎作図を、生徒に紹介する。この科目はまた初等算術の基礎要素の徹底的復習を与える。

- 「予備数学 421」 2年

この科目は、数学に遅進的であり、しかも普通の生徒よりも遅い速度で進む必要がある、2年（8学年）になる生徒に、「数学 422」の代替に提供される。この科目は、高校の数学に必要な基礎である項目を、生徒に教えようと努めるであろう。

この科目の完結後、代数や幾何の正規科目を取ることを欲しない生徒たちは、3年段階の「数学 431」に進んでよい。しかしながら、代数や幾何の正規科目を取ることを欲する生徒たちは、

「数学422」を取って及第することを先ず要求されよう。

### E 体育

- 「体育(男)505」 2年                      ○「体育(女)506」 2年  
○「体育(男)507」 3年                      ○「体育(女)508」 3年  
○「体育(男)509」 4年                      ○「体育(女)510」 4年

体育は、体育館内および運動場上で運営され、2, 3, 4年(8, 9, 10学年)生全員に必修のハーフコースである。それは、運動能力、有用な体育技術およびレクリエーションの評価を発達させる。また成長と成熟に貢献する。

## Ⅲ 選 択 科 目

- 「北アメリカ文学182」 4, 5年

この科目は著名な北アメリカの作家(カナダの作家に重点)、すなわち小説家、劇作家、詩人、随筆家の学習である。それは、読書に興味をもち、そして多種類の読書研究課題を進んで成遂げる、知能の高い大学進学希望者の気に入るはずである。

見本の単元units:(i) 北アメリカの詩, (ii) 北アメリカ演劇におけるテーマ, (iii) 北アメリカのユーモアおよび風刺文学, (iv) 合衆国の古典小説, (v) 現代カナダの小説家。

「読書指導学習120」 2年

この科目は、じゅうぶんにうまく、もしくはじゅうぶんに速く読めない、後れた段階にある生徒に提供されよう。クラスは小さい。注意は基礎読書技術と学習習慣に与えられる。

- 「歴史301」 3年      1400-1789年ヨーロッパ史

これは、ヨーロッパの形勢の重点が封建主義と教会から資本主義、世俗主義および民族国家の非常事態へ移行した様子を、示すため企画された概説の科目である。学習される国家は、イギリス、フランス、スペイン、イタリアおよび神聖ローマ帝国を構成した諸国を含む。

この科目を取る生徒は、随筆を書くことと文書学習とに訓練をうける。「歴史326(フランス語)」を取得したフランス語専攻生徒は、「歴史301」が「歴史326」の学習の反復でないことに注意しなければならない。それは、関係諸国の政治と経済に関する補充の科目と考えられてよい。

- 「歴史302」 3年

この歴史の科目は、3つの違った政治概念、すなわち資本主義・社会主義・共産主義、の下で動く3か国の現代史を学習するように企画される。学習の基礎要素は、アメリカ合衆国、中国およびイスラエルの政治の現存の形態を生じさせた“革命”についての研究を含むであろう。

- 「経済362」 4年

この科目は、住民と地域社会の毎日の生活における経済の諸関係および影響に気付くことを、生徒に開発させることができるであろう。それは、生徒が家族や地域社会の人たちと一緒に住む、経済環境におけるかれの地位に気付くことを可能にし、こうして、生産者としてや消費者として、ケベックの経済体系における住民の相互依存を、生徒に実感して理解させるべきである。

- 「歴史351」 5年

この科目は、3つの英語を話す民主主義国、すなわちイギリス、アメリカ合衆国およびカナダの歴史に基本的に関係する。この科目は、州の高校5年卒業証明書に2単位として計算するが、大学入学には認められない。

- 「歴史352」 5年

この科目は、18世紀から第2次世界大戦後の出来事までの期間を取扱う現代史であり、現在の世界情勢を説明することを企図する。学習は、革命・ナショナリズム・工業化・戦争と平和および現代のイデオロギーの、5つのテーマを追求する。

この科目は、文学・社会学・哲学・政治学の理解のために貴重な背景を与えるから、高校の後の段階において人文科学を研究する計画の生徒に、つよく勧められる。

「数学431」 3年 必要条件：この科目を取る生徒は「数学422」または「421」を取ってしまっていないなければならないが、及第していなくてもよい。

これは、実際の問題を処理できるが抽象的推論に困難をもつ生徒のための、一般数学の科目である。それは算術、かんたんな代数、実用的幾何を内容とする。この科目は大学へ行く計画のない生徒のために企図されている。

「代数432」 3年 「幾何406」と同時取得

これは初等代数の科目である。それは2年で発足した代数科の継続であり、そして、「数学442」や「幾何472」のため必要な、先行の科目である。

「幾何406」 3年 「代数432」と同時取得。必要条件：「数学422」

これは帰納的幾何学の科目である。それは生徒を平面幾何のたいていの概念と要素に精通するように努力するであろう。しかしこの学科へのアプローチは演繹的なものよりもむしろ帰納的なものであろう。この科目は「数学442」や「幾何472」のため必要な先行条件である。

「数学441」 4, 5年 必要条件：3年の数学の科目のどれでも

これは、数学が楽しいが正規科目の抽象的アプローチに過度の困難をみる生徒のために計画された、一般数学の科目である。それはかんたんな初等代数、実用的幾何、いくらかの算術および応用数学を内容にする。この科目の完成に州統一試験（筆記）があるであろう。この科目は州の高校5年卒業資格に1単位として用いてもよいが、たいていの大学に入学科目として容認されない。

「数学442」 4, 5年 必要条件：3年の正規代数と幾何の両方の科目

これは主に初等代数の1科目であるが、帰納的幾何の勉強も少しされる。科目の内容は3年の代数および幾何で発足したものの継続である。この科目の完成で州統一試験（筆記）があるであろう。この科目を取ろうとする生徒は4年でそうすることを勧められる。

「幾何472」 4, 5年 必要条件：3年の正規代数と幾何の両方の科目。注意：生徒は、すでに「数学442」を修得したか、または同時にそれを取るよう企てる場合を除き、この科目を取るよう選択してはならない。

これは演繹的平面幾何の科目である。それは、高校の幾何の科目に通常含まれる項目すべてを内容にし、そしてまた、直線と円の座標幾何の比較的やさしい項目を取扱う。この科目の完成に州統一試験（筆記）があるであろう。

「幾何407」 5年 必要条件：1971/72年の「幾何446」

この科目は先年平面幾何で発足した勉強を完成する。この科目の完成で州統一試験（筆記）がされる。

●「関数453」 5年 必要条件：「数学442」の及第、そして3年で扱われたものの上の「幾何」のハーフコース1つ以上。

これは現代代数および三角関数の1つの科目である。理学、看護、工学、応用科学に専門化する大学へ進路をとることを意図する生徒は、数学がそうするにじゅうぶんに良いならば、5年で「関数」を取ることを忠告される。ただし、「数学442」を習得していなく、そして「幾何」に1つ

ルコース相当しか取っていない生徒は、この科目を取ろうとしてはならない。

「芸術 516」 2, 3年

「芸術 518」 4, 5年

これらの科目の目的は、1. 生徒を励し助けて創造能力を発達させること。2. 芸術の鑑賞と趣味の感覚を発達させること。3. あらゆる様式の芸術的表現にたいし、審美感の豊かな認識と偏見のない受容を刺激すること、である。

入門科目は、描図・絵画・彫刻・デザインの基本の、そして基礎的芸術媒体の使用の教育を提供する。生徒は創作の仕事をするように激励される。先史時代からルネッサンス期までの美術史の学習がこのプログラムを完成する。

上級科目は、教材と媒体のより高等な取扱を提供する。生徒は、指導と批評のもとで創作の仕事をする機会をもち、しかもスライド・複製・美術館訪問を通して美術の多くの見本に親しむようになる。美術史はフランス革命から現在までの西洋美術様式を扱う。

「気候 522」 2, 3年

大気および違った天候の経過が違った型の天候をつくる様子の学習。違った気候は、これらの天候をつくる大気・海と陸塊・その他の要素の、条件にもとづく発生の理由に注目される。植物と土壌がある気候とそれらとの関係および人間へのそれらの影響について扱われる。

「地形 523」 2, 3年

地形の学習。火山、地震、山脈、瀑布、断崖、峡谷、温泉、間欠泉、掘抜井戸、湖水、氷河を扱う。自然力が地球の表面に今日存在する各種の地形を形成してきたやり方を説明する。

「地理 526」 4年、選抜された3年生 必要条件：「気候」または「地形」

自然環境と人文環境の相互関係を強調する、カナダの総合的な地誌学習。アメリカ合衆国の2つの選抜地域もまた同様のやり方で取上げられる。

「地理 527」 5年 必要条件：「気候」または「地形」

次の資本主義および共産主義の諸国に焦点を合わず、世界経済地理の学習。すなわち西ヨーロッパ（共同市場） アメリカ合衆国 ブラジル 日本 ソビエト連邦 中国 北朝鮮 キューバ

諸国のつながりは次の領域で学習される。すなわち、自然地理（地形、土壌、資源、気候）  
人口分布 工業の発達 経済の発達

同様に、世界の食糧資源（小麦と米）とエネルギー資源（石油、天然ガス、水力、火力発電、原子力）の学習が約束されよう。

「家庭 540」 2, 3年

家庭の科目は5つの主要領域に分けられる。すなわち、食物の意義 衣服と織物 家族生活、住居とデザイン 消費者経済

「家族生活 541」 4, 5年 必要条件：「家庭 540」

「食物と栄養 542」 4, 5年 必要条件：「家庭 540」

「織物と衣服 543」 4, 5年 必要条件：「家庭 540」

「住居とデザイン 544」 4, 5年 必要条件：「家庭 540」

このプログラムは4つのハーフコースを提供し、生徒は、州高校卒業資格のための2単位のクレジットを受けるために、4科目のうちどれか2科目で州統一試験（筆記）を受けなければならない。2単位以上はこの学科で獲得できない。

注意：これらの科目はじゅうぶんな生徒が登録する場合にしか役立つであろう。

「工業技術 700」 2, 3年男女

この科目は、今日の技術社会をよりよく理解することへ指導し、そして興味、発明の才および創造性を発達させることを援助する。それは工業世界の基礎的原料、装置、製法を生徒に紹介する。理論と実際教育が木工と金工とに提供される。

「工業技術 702」 4, 5年 必要条件：「工業技術 700」

上級科目は「工業技術 700」に表現される教育の形態が継続される。この科目において生徒は、個人的な興味や活動を満たし、そして1つか2つの専門化のなかで能力の程度を発達させることが可能になるだろう。

「製図 704」 2, 3年男女

この科目は工業の国際言語としての製図を生徒に案内する。製図の基本的原理から、そして道具使用上の増加する技術をもって、生徒は、機械部品、家具、板金プロジェクトのような、多種類のかんたんなプロジェクトの製図の勉強を進める。

4年と5年に「商業プログラム」に入ろうと思う男子は、それを学び終えた年の7月に「製図 704」で州統一試験（筆記）を受けるべきである。

「製図 705」 4, 5年男女 必要条件：「製図 704」

この科目は製図のより高等でより詳細なアプローチを提供する。建築設計が導入される。この科目に州高校卒業資格のクレジットを受取ることに加えて、生徒はまた、売れ口のよい職業に入る技術を獲得する。

「器楽 570」 2年

教授は管楽器と、打楽器にもなされよう。

「器楽 571」 3年 必要条件：「器楽 570」

「器楽 572」 4年 必要条件：「器楽 570」

「一般理科 580」 2, 3年 それは高校の「一般理科」をまだとっていない全生徒に必修である。

この科目は上級の生物、化学または物理への入場許可のための必要条件と考えられている。

この科目の目的は、生物、化学、物理から題材を用いて、科学の手順と法則の一般概念を発達させることである。

「一般理科 581」 4, 5年

この科目は、科学のいくつかの法則と技術を、そして、通常生物や自然科学から引出される実際の応用を表現するために企画される。最終試験が州統一試験である（2単位）。この科目は上級の生物、化学または物理をやっている者に取られてはならない。

「生物 582」 5年

一般生物の科目。細胞組織、化学と生理学、遺伝、植物および動物概観、人体解剖と生理、のセクションを含む。重点は、幅広い概念と法則、一部に生態的で進化論的なもの、におかれる。時間の約20%は実験室演習を含む。最終試験は州統一試験である（2単位）。

注意：この科目は「一般理科 581」をとっている者に選択されてはならない。

「生物 587」 4年

「生物 582」の前半がハーフコースとして提供される。

「生物 588」 5年 必要条件：「生物 587」の及第

「生物 582」の後半。



注意：教育の原理と経験に基づき、生物が4年と5年の2か年にわたり、2ハーフコースとして取得されるように勧告される。1か年科目は2ハーフコースを取るように時間割を調整できなかった5年生を収容するためにだけ提供される。

□「化学584」 5年 必要条件：「数学442」に及第あるいは同時取得中

化学の基礎原理の理解が細部の累積よりも重視される。この科目は一般無機化学、一部の自然法則および金属の諸性質にわたる。これは、包含される理論を認識することを生徒に可能にする、実験室勉強の課程を含む。

注意：この科目は「一般理科581」を取っている者に選択されることが禁止される。

○「化学589」 4年 必要条件：「数学442」に及第あるいは同時履修中が望ましい。

「化学584」の前半がハーフコースとして提供される。

注意：この科目は「一般理科581」を取っている者に選択されてはならない。

○「化学590」 5年 必要条件：「化学589」に及第

「化学584」の後半

注意：教育の原理と経験に基づき、化学が2か年（4年と5年）にわたり2ハーフコースとして取得されることが、つよく勧められる。1か年科目は2ハーフコースを取るように時間割を調整できなかった5年生を収容するためだけに提供される。

□「物理585」 5年 必要条件：生徒は「数学442」に及第していなければならない。

この科目の目的は物理学の現代および古典の概念を紹介することである。いくらかの実験室勉強が、生徒に理論的概念を理解することを助けるために、含まれる。最終試験が州統一試験である。

注意：この科目は「一般理解581」と同時取得を禁止される。

○「物理591」 4年 必要条件：「数学442」に及第あるいは同時取得中

「物理585」の前半。

注意：この科目は「一般理科581」と同時取得を禁止される。

○「物理860」 5年（1972/73年度には開設されない） 必要条件：「物理591」に及第

「物理585」の後半。

注意：教育の原理と経験に基づき、物理が2か年（4年と5年）にわたり2ハーフコースとして取得されることが、つよく勧められる。1か年科目は2ハーフコースを取るように時間割を調整できなかった5年生を収容するためだけに提供される。

○「演説と討論119」 2, 3年 必要条件：正規「英作文」の成績70%

この科目は、議会の手続や人前での話方に従って、討論の技術を生徒に教えるように企画される。生徒は題目を研究し、発表を計画することを要求されよう。すべての準備勉強は授業時間中にされる。部外の講演者がある技術を実地教育するためにときどき出席するかも知れず、またこのグループからいくつかの討論チームが編成されることが望まれる。

#### 職業教育

“私はどんな種類の職業を得ることができますか？”

“私はどんな種類の将来を持つでしょうか？”

これらの質問がしばしば、大学に入ることを計画していない、または学問的にじゅうぶんな資質のない、卒業する生徒から尋ねられる。費用のかかる民間のコースを必要としなかった解答は、今までほとんどなかった。

教育省は、このことをよく知って、今、大モントリオール・プロテスタント学校教育委員会との

協同作業で、今年3、4、5年段階に与えられる予定の、科目群を企画した。それらは、男生徒にも女生徒にも開かれ、個人的にも職業分野にもともにひどく価値のある専門化された訓練を準備するであろう。

この分野で科目を取って及第する生徒たちは、結局は州高校卒業証明書をもって卒業するであろう。

2つの型のプログラムが職業教育に提供される。すなわち(i)職業短期計画、(ii)職業長期計画、である。これら2つのコースは以下に概括される。しかしながら、モンリオール・ウエスト高校で「職業短期計画」を提供する可能性が薄いことに注意されるべきである。そのようなプログラムを遂行しようとする生徒は、この計画が提供されている他の学校へ転校する手配をするため、ガイダンス担当者または管理当局の先生に相談すべきである。

#### (i) 職業短期プログラム

これは2学年に始まる2か年コースである。それは(1972年9月発足)「トランク・プログラム」と(1973年9月発足の)「プロフィール・プログラム」から成る。これは2か年計画の終末において高校卒業資格「職業短期」に導く。

高校3年「トランク」プログラム 1972/73年度に提供

- 「タイプライター術626」 3年
- 「迅速な計算627」 3年
- 「簿記入門628」 3年

高校4年プロフィール 1973/74年度まで提供されない。

#### 1. 補助商業プロフィール

目標：生徒はタイプ術、各種事務機器と複写器の操作法、金銭レジスター操作法、商業書類ファイル法を勉強するであろう。

職業機会：タイピスト、現金出納係、ファイル事務員、複写事務員。

必要条件：手先の器用さがひじょうに重要である。生徒は反復性の作業を好まねばならない。出納係の仕事は集中する能力を要求する。

コース必要条件：

- 「タイプライター術<sup>註</sup>」 註：コード番号のない科目は1972/73年度に提供されていない。
- 「事務機器」
- 「ファイル法」
- 「個性伸長(女)」 または  「個性伸長(男)」

#### 2. キーパーチ操作員

目標：生徒は1時間あたり平的速度8,000打でカードに穴をあけることができねばならない。

職業機会：近年実業界や官庁に大きな需要。

必要条件：手先の器用さが重要である。生徒は緊張下で働らくことができなければならない。仕事は日中にされるが、ときには夜間にもされる。

コース必要条件：

- 「キーパーチⅠ」
- 「キーパーチⅡ」
- 「事務機器」
- 「個性伸長(女)」 または  「個性伸長(男)」

### 3. 部品部の管理人

目標：自動車修理店の部品部を効率的に運営することを生徒に可能にすること。

職業機会：ある機械に必要なとされる部品を点検して速かにありかを見つけ出すことができる者への需要がある。雇用機会は、修理が多種類のガレージまたは専門化されたガレージにある。

必要条件：生徒は、観察の鋭い感覚、良い記憶および注文への適用をもつことを、立証すべきである。緊張下で仕事ができなければならない。

コース必要条件：

- 「ファイル法」
- 「事務機器」
- 「機械と器具の基本要素」
- 「部品部門の組織と運営」

#### (ii) 職業長期プログラム

このプログラム中の全科目は、高校卒業の単位科目であり、またすべての生徒に開放される。ただし、注意：「トランク」プログラム中の科目を取得し（及第し）た生徒だけが、所与の「プロフィール」で訓練する資格があり、そして、かれらの“専攻”を挙げる特別な卒業証明書を獲得する資格を結果として与えられる。

高校4年「トランク」プロフィール 1972/73年度に提供

「タイプライター術621」 4年

「商業算術623」 4年

迅速な計算、投資の計算、普通の商業問題の計算法、から構成される。

「サービス型業務用簿記624」 4年

「法律入門625」 4年

高校5年プロフィール 1973/74年度まで提供されない。

文部省が10の違ったプロフィールを認可し、次の節にこれらがすべて概説されるけれども、モントリオール・ウエスト高校規模の学校では、1973/74年度に2乃至3プロフィール以上を提供することができないであろう。これらのプロフィールのうちいくつかは扱われる主題の選択において他のものより綿密に述べられる。これらは多分1973/74年に与えることができる予定のものである。

しかしながら、もし生徒がウエスト高校で与えられる以外のプロフィールを取ることを欲するならば、かれが選ぶプロフィールがおかれる他の学校へ転校することを調整することが、おそらく可能であろう。

#### 1. 商店員

目標：製品の種類、品質、形式、その他の性質について情報を求める顧客を助けて助言を与えることを、生徒に可能にさせること。

職業機会：スーパーマーケットやデパートにおける仕事。報酬は俸給、および、または、手数料におかれる。成功したサラリーマン（サラリーレディ）はバイヤー助手、バイヤー、部課長、支配人等に昇進するであろう。

必要条件：生徒は工夫に富み、他人に会うことを好み、気転・礼儀・忍耐を発達させねばならない。かれは観察のし方を学ばねばならず、そしてかれの外見がひじょうに重要である。

コース必要条件：

- 「上級簿記」

「事務実際、ファイル法、事務機器、個性伸張入門」

「販売とマーケティング」

「小売」

「小売店」

「クレジット・サービス」

## 2. 会計事務員

目標：購入注文書と送り状の日延べを処理し、小さな取引の帳簿を記入し、小切手や計算書・正式取引税報告書を準備することを、生徒に可能にさせること。

職業機会：官庁、製造業や貿易業の企業、信用団体、会計部門、銀行。

必要条件：生徒は平均水準以上の知能を証明し、すぐれた観察力をもち、四則計算法に熟達し、論理的推量の能力と責任の意識を示さねばならない。

コース必要条件：

「簿記」

「上級簿記（会計）」

「事務実際、ファイル法、事務機器、個性伸張入門」

「タイプライター術Ⅲ」

「クレジット・サービス」

## 3. 事務員

目標：タイプライター書状・メモ・原稿・報告書を複写・転写し、謄写原紙や写本を切ってタイプし、ファイルし、違った事務機器を操作し、郵便物を受理・急送・処理し、かんたんな簿記を取扱うことを、生徒に可能にさせること。

職業機会：事務員は、あらゆる実業部門で働き、そしてあらゆる種類の一般事務の仕事を遂行する。

必要条件：手先の器用さが重要である。生徒は書類を整理し組織する能力を示すべきである。

コース必要条件：

「簿記」

「タイプライター術ⅢとⅣ」

「事務実際、ファイル法、事務機器、個性伸張入門」

## 4. 食品店員

目標：生徒は違った種類の食品、製造元、輸送手段、職業の種類、作業状況を区別することができなければならない。かれは食肉の違った肉片、屠殺業用の道具、燻製の肉を見わけることができなければならない。違った食品店の商品が食用に適するか、適しないか点検できかねばならない。棚を整え、準備し、展示し、果物や野菜を包むことができかねばならない。現金レジスターを扱い、現金を決済し、商品の重さを計ることができかねばならない。

職業機会：食品業界の仕事、部課長または店管理人への昇進の機会をとまらう。

必要条件：すぐれたモーター調整、仕事を創造性と想像力に富ませる能力。生徒は他人と一緒に働き、そして公衆と常に接触をもたねばならない。

コース必要条件：

「事務実際、ファイル法、事務機器、個性伸張入門」

「販売とマーケティング」

- 「食品雑貨店業」
- 「小売」
- 「小売店」
- 「食品雑貨店業の特別部門」
- 「果実と食肉の販売」

#### 5. コンピューター事務員

目標：（カードまたは他の媒体をキーパンチする）普通のデータ・プロセス装置を操作し、またハードウェア中のあまり重要でない判断をすることを、生徒に可能にさせること。かんたんなプログラムを書き、読み、分析することを生徒に可能にさせること。

職業機会：違ったデータ・プロセス請負人とともに、政府、教育庁、大学、カレッジ、研究所、大会社。

必要条件：生徒は緊張下で仕事をし、夕方や夜間の交替、ときには24時間交替さえ受領することができなければならぬ。データ・プロセス・センターにおいて喫煙が許されない。

コース必要条件：

- 「データ・プロセス法Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ」
- 「簿記」
- 「事務実際，ファイル法，事務機器，上級簿記」

#### 6. 受付係

目標：訪問者に挨拶し道を教え、電話に答え、約束をつくり、セールスマンまたは患者に面会し、あらゆる電話装置を取扱い、即座の交渉をすることを、生徒に可能にさせること。質問をさばき、記録や報告を照合し保管し、航空路・鉄道・バス会社等の時刻表についての情報を与えること。

職業機会：実業会社、政府機関、病院、ホテル等で電話交換手か受付係として働くこと。

必要条件：生徒は快活な個性（笑い、如才のない、親切な）をもたねばならぬ。かの女の化粧、髪形、衣装は良い趣味でなければならぬ。かの女は平均以上の知性、高い精神、速い反射能力、円熟、調和のよい個性を実証しなければならぬ。かの女は正確に英語とフランス語を話さねばならぬ。

コース必要条件：

- 「タイプライター術ⅢとⅥ」
- 「事務実際，ファイル法，事務機器，個性伸張入門」
- 「電話の作法」
- 「観光産業」

#### 7. 普通秘書

目標：かんたんな覚書から手紙を書き、速記ノートまたは録音機からタイプし、違った事務活動を調整し、会合への注意を用意し、委員会を召集し、電話コールで雇主を補助し、雇主の不在中訪問者を受けて助け、会合・出張に必要な文書を準備し、毎日の書類提出制度を支度し保管し、事務支給品を世話することを、生徒に可能にさせること。生徒は弁護士の助けなしに法律文書を仕上げねばならぬ。

職業機会：秘書として雇われる前に、卒業生は一般事務員として働かねばならぬ。この最初の時期の長さは会社ごとに違う。秘書の経歴機会にはほぼ無限である。かの女は管理職員、事務管理人、病院事務長、個人の監督者等に進むことができる。

必要条件：専門の技術と知識がひじょうに重要であるが、成功する秘書に貢献するのは個性である。未来の秘書は、協力、すぐれたマナー、外交を実証しなければならず、威厳と気転によって違った情勢に適合できなければならない。かの女は責任感があり、信念がかたく、根気がよく、組織力があり、精力があり、そして慎重でなければならない。才能と指導力をもたねばならない。神経的苦痛の徴候を示すことなしに緊張下で仕事ができなければならない。良い判断力と自分の仕事を系統だてる能力をもたねばならない。

コース必要条件：

- 「タイプライター術ⅢとⅣ」
- 「英語秘書」
- 「フランス語秘書」
- 「事務実際、ファイル法、事務機器、個性伸張入門」
- 「簿記」

#### 8. 法律秘書

目標：法律的合致を実行し、電話で通信し、法律用語を理解し、約束を取決め、概略ノートから法律書類をタイプし、機械から転写することを、生徒に可能にすること。生徒は、弁護士や公証人の事務所で使われる違った文書を点検し、契約や手続のファイルを準備し、どの書類ケースにも支払と受取の記録を記入しなければならない。

職業機会：法律秘書は法律事務所、民事口論所、法務局の事務員として必要とされる。

必要条件：生徒は、公衆とともに働くことが好きで、自己修練をもち、規律正しく、責任と進取の気性の感覚を持つべきである。かの女は緊張下で仕事ができなければならない。

コース必要条件：

- 「タイプライター術ⅢとⅣ」
- 「速記（初級）」
- 「英語速記（上級）」または「フランス語速記」
- 「事務実際、ファイル法、事務機器、個性伸張入門」
- 「法律手順」

#### 9. 医療秘書

目標：速記ノートまたは録音機から医学用語を含む違った本文をタイプすることを、生徒に可能にすること。かの女は医学検査報告書を校正してタイプし、郵便物を開封し急送し、電話コールと患者の約束を取扱い、ファイルし、日録を記入し、計算書を用意し、帳簿をつけ、かんたんな医療処方と診療室支給品を指図し、約束を調整し、医学会議の関係書類を準備できるべきである。かんたんな簿記をし、そして弁護士の助けなしに書上げることができる法律書類を完成できるべきである。

職業機会：医療秘書は保健サービス関係のあらゆる施設、すなわち研究・医療刊行物を取扱う会社、診療所、病院、医師・歯科医の診療室、公共医療施設、保険会社、身体障害児の学校により需要されるであろう。

必要条件：医療秘書は、公衆に会うことを好み、気持がよく、腹をたてず、優しくなければならない。かの女は職業仲間と協力することを好み、責任感があり、信念がかたく、根気があり、良心的でなければならない

コース必要条件：「生物582」

「タイプライター術ⅢとⅣ」

「速記（初級）」

「速記（上級）」

フルコース英語速記またはーフコース英語ーフコース仏語のどちらでもよい。

「事務実際，ファイル法，事務機器，個性伸張入門」

「医学用語ⅠとⅡ，医療環境」

#### 10. 速記タイピスト

目標：生徒に速記または記録ノートからタイプすることを可能にすること。生徒は郵便物を分類して配り，訪問者を受け，電話伝言をとり，ファイルやかんたんな簿記をすることができるべきである。

職業機会：速記タイピストは工業，商業，研究，政府の部門に，また少ないが大会社で職場を発見するであろう。経験とともにかの女は幹部秘書のような地位へ進むことができるであろう。2か国語併用速記は大きな需要がある。

必要条件：生徒は，他人とともに働くのが楽しく，気持ちがよく，腹を立てず，協調的で，優しく話し，外交的でなければならない。かの女は情緒的によく均衡し，緊張下に立っていないなければならない。英語とフランス語の正しい使用の，じゅうぶんな知識が根本的に重要である。

コース必要条件：

「タイプライター術ⅢとⅣ」

「速記（初級）」

「速記（上級）」

「フランス語速記」

「事務実際，ファイル法，事務機器，個性伸張入門」

注意：「タイプ606」と「速記595」を取得した生徒は，どのプロフィール計画に入ることもできないであろう。かれらはその代わりに「上級タイプ629」と「上級速記617」を取るであろう。

#### 選択科目

「簿記入門624」 4年

簿記の基礎段階と計算の基礎要素の理解を生徒に与えること。

「商業算術623」 4年

商業および個人に関する算術の問題の解法および迅速な演算の技術を生徒の中に発達させること。ある商業および財政報告書，例えば年金，株式と社債，貸付等の迅速な計算法が含まれるであろう。

「法律入門625」 4年

生徒に市民権のいくつかの法的原理を教えること，および譲渡できる証書と法律上の文書の性質と使用を知らせること。

「速記630」 4年

これは，速記の理論を教え，そして，通常の難かしさの題材の書取りとその文字への書換えの技術を発達させるために，企画された2か年科目の前半分である。速度の目標は毎分最小60語。

「速記617」 5年 必要条件：「速記630」

もっと難かしい題材を書取る技術の一層高い発達，速記を文字に書換える技術の完成，そして，普通の長さの手紙やその他適当な題材において毎分最小80語の速度の目標。

「事務実際613」\* 4，5年

生徒に事務所の仕事に含まれる職務についての一般的理解を与えること、良い仕事の習慣および基本的実業技術、すなわちファイル法・電話サービスを発達させること。

○「事務機器603」＊ 4, 5年

もっとも普通に使用される機器の操作を教えること。

＊生徒はこれらの科目を両方とも選択するか、または両方とも選ばないか、でなければならない。

□「タイプ術629」 4, 5年 必要条件:「タイプ術606」(1971/72年度)

この科目は初級タイプ術に及第した4年と5年生に開設される。この科目は職業で使用されるタイプライター術の技術の発達を助長することを内容とする。この科目の最終における最小限度は毎分30語。この科目は1973年7月以降役に立たなくなる。

□「タイプ術621」 3, 4, 5年

毎分最小限25語までタイプを押す技術を発達させる、タイプ術の科目。

この科目は「職業長期計画」の「トランク」部分を取ろうとする4年生全員に必修である。この科目はまた、すべての商業プログラムに進みたくないがタイプすることを学びたい3, 4, 5年生に開放される。しかしながら、もし生徒が「トランク・プログラム」を完成してないならば、「プロフィール・プログラム」をもっとあとになって取得できないかも知れない、ということに注意しなければならない。

#### IV 必修追加フランス語科目

48頁に概説されるように、2年と4年の生徒は：フランス語で最小限1追加ハーフコースを取らねばならない。

2学年——生徒は6つの違った12週間科目から選択して3科目を履習しなければならない。学校は、これらのクラスの人数を釣合わせるため、選択の若干の入換えをする必要があるかも知れないが、そのような入換えが最小限にされることを望む。

○「選択群208」 2, 3年

「一般理科」	「初等地理」	「教室のホールでの演劇」
「フランス文学」	「芸術入門」	「民族音楽」

「一般理科(仏語)」 この科目は、人体解剖と生理学、生態、一般生物という、生物から抜出された項目を取扱い、そして、生徒の活動に重点を置く教室の学習の外に、課題、実験室さらに野外の勉強を含む。

「初等地理(仏語)」 この科目において生徒は3つの違った地域、すなわち(i)豊かな地域—ケベック、(ii)古い地域—フランス、(iii)貧困から脱出する地域—インド、の地理を学習する。

「教室のホールでの演劇(仏語)」 この科目において生徒は、授業中1つ以上の芝居を読み、それから12週間の期間の終りに上演するもの1つを選ぶ。演技者だけでなく、小道具・化粧・宣伝等で助ける生徒にとっても、活動の機会がある。

「フランス文学(仏語)」 この科目はフランスならびにフランス系カナダの文学を読むことに専念する。短篇物語と1つの脚本か小説が取上げられる。

「芸術入門(仏語)」まったくフランス語で教えられる、芸術の基礎科目。生徒は外形、様式、動き、構成、色彩の概念に関し実験をする。

「民族音楽(仏語)」 この科目の重点はフランスならびにフランス系カナダのフォーク・ソング



グの合唱にある。生徒はまたよく知られたポピュラー・ソングの歴史、革命、変化についても勉強する。

4 学年 — 以下が4年でフランス語の必修ハーフコースを選択するさい役に立つ選択科目である。

○「ケベックの伝統(仏語)201」 4, 5年

この科目は、村の毎日の生活、住居、いくつかの顕著な人間タイプ、手芸、料理、代表的な祝祭、伝説の学習を通して概観される、フランス系カナダ人の生活と伝統の描写を内容として持つ。

○「演劇(仏語)202」 4, 5年

この科目においては現代の脚本が読まれ、とくにいくつかの芝居が地元の仲間によって上演されるであろう。生徒はそのとき、自分たちが学んだ勉強の上演を世話する。生徒は自分の切符を買うことを当然と思うであろう。

○「造形美術(仏語)203」 2, 3, 4, 5年

これは、フランス語で与えられる科目であり、主要目標が生徒を個人的に豊かにすることと芸術的に発達させることである、芸術の科目である。偉大な名匠の模倣を通して、偉大な流派の基礎技術を練習することを通して、生徒は表現の個人的様式を発達させるべきである。

○「一般地理(仏語)204」 2, 3, 4, 5年

これは、地球上の自然および人間環境のよりよい理解を生徒に与えるように企画された、フランス語で教えられる科目である。生徒はフランス語で、クラス討議に参加し、課題を書く準備をすることが期待される。

○「芸術史と芸術家(仏語)205」 2, 3, 4, 5年

この科目は、過去の偉大な芸術作品の学習を通して生徒に、個人的に豊かにすることおよびより大きな芸術的認識を与えるように企画された、フランス語で教えられる科目である。この科目は、先史時代から現代までの、人間、芸術家を見る。生徒はフランス語で、クラス討議に参加し、課題を書く準備をすることが期待される。

○「商業フランス語206」 4, 5年

この科目はオフィスで働らくことを計画している生徒のために企画される。かれらは普通の商業語彙を獲得し、フランス語で、電話に答え、伝言をし、商業手紙を書くことを学ぶ。

## V フランス語専攻プログラム

主にフランス語を話す生徒も在学するから、そのようなものためのカリキュラムである。

### 2 学年

1971/72年度に1年(7学年)のフランス語専攻諸科目を完成した生徒のため、次の取決めが1972/73年度用にモントリオール・ウエスト高校で作られた。

このグループの各生徒に、「フランス語210」の必修フルコース、「英語122」の必修フルコース、地理の必修フルコース、歴史の必修ハーフコース、および「造形美術(仏語)203」・「一般地理(仏語)204」・「芸術史と芸術家(仏語)205」・「選択群208」の中から選ばれるその他の必修ハーフコースを履修しなければならない。もし「選択群208」が選択されるならば、「フランス文学」と「初等地理」は除かれねばならない。

□「地理(仏語)529」 2年

フランス語で教えられるこの科目は生徒に、われわれが住んでいる自然ならびに人文環境を研究することにより、世界の現実を紹介する。

○「近代史（仏語）370」 2年

フランス語で教えられるこの科目は、ルネッサンスから第一次世界大戦までのヨーロッパにとくに強調をおき、3学年の正規の歴史プログラムにきっちりと続くであろう。

3学年

3年（8学年）にフランス語専攻課程を継続している生徒に次のプログラムが整えられる。

このグループの生徒は、「フランス語220」の必修フルコース、「英語132」の必修フルコース、そして「工業技術（仏語）706」・「歴史（仏語）371」・「音楽史と音楽家（仏語）577」・「フランス文学（仏語）207」の中から合計2フルコース相当を履習しなければならない。追加フランス語は「造型美術（仏語）203」、「一般地理（仏語）204」、「芸術史と芸術家（仏語）205」から選択されてよい。

□「工業技術（仏語）706」 3年

これは、「工業技術700」と同じ科目であり、ただこの科目はフランス語で管理される。54頁を参照。

○「歴史（仏語）371」 3年

この科目は、フランス語で教えられ、テキスト *Histoire Générale 1328-1815* を使い、1971/72年度「歴史（仏語）326」の完結である。

○「音楽史と音楽家（仏語）577」 3年

違った音楽の“類型”と楽器の発展の概観。偉大な古典音楽の試聴と討議があり、そして他の土地からの音楽におけるより外来的なものの包括的眺望がある。

□「フランス文学（仏語）207」 3年

この科目は、フランス文学からの精選作品から構成され、事実、フランス系カナダ文学ができるだけ多く使用されるであろう。学習されるべき作品は、短篇、詩、科学空想小説、脚本を含む。

このプログラムは4年（10学年）以降には設置されない。

## VI 趣 味 科 目

生徒は、少しでも趣味科目を選択する前に、以下に概説された処置に従わねばならない。

処置1——正しい数の必修科目と選択科目を選びなさい。

処置2——毎2日14授業時間いっばいの時間割になるように、充当する数の趣味科目を選びなさい。

しかしながら、じゅうぶんな数の生徒が選んで取る場合に、多種類の趣味科目が与えられるのである。また、趣味科目が時間表の上で必修科目または選択科目と衝突するかも知れないが、このような場合にはどちらか一つを選らばねばならない。示された場合を除いて、あらゆる趣味科目はあらゆる学年の全生徒に役立つ。

次の形式の趣味科目が与えられる。

(1) いっしょになってハーフコースを構成する、3つの12週科目の、接続される群。そのような接続群は一括として選択されねばならない。

(2) いっしょになってハーフコースを構成する、2つの18週科目の、接続される群。もう一度これらは一括である。

(3) いっしょになってハーフコースを構成する、4つの9週科目の、接続される群。これも一括である。

(4) 単一のハーフコース。

○「合唱900」 2-5年

この科目は、人気のある古典音楽、斉唱、重唱をもつ声楽経験を内容にする。この科目の目標は歌唱の楽しさを育てることである。

○「料理901」 2-5年

この科目は食物の理論を台所の実際の技術の発達に結びつける。時間、費用および生徒の興味が現実のプログラムを決定するであろう。科目は役に立つ面積により人数が制限される。

○「コンピューター科学902」 3, 4, 5年

この科目はコンピューターおよびデータ・プロセス法の最初の科目である。この科目の期間に生徒は学校で終着まで自分のプログラムを進めることができるであろう。この科目からじゅうぶんに利益を得るために生徒は、それで勉強する追加カリキュラムの時間を若干費やすことを覚悟していなければならない。

○「創作芸術903」 2-5年

「銅細工とエナメル塗」	「陶芸と陶器」	「彫刻美術」	「創作デザインと手芸」
-------------	---------	--------	-------------

この科目を選択する生徒は上のセクションのそれぞれに9週間を費やすであろう。以前に「創作芸術」を取得したことのある生徒は、関係する教師により許可が容認された後にだけ、この科目を選択してもよい。

「銅細工とエナメル塗」 銅をつかう創作の仕事に含まれる技術への導入。生徒は、槌打ち、伸張すること、継合わせること、そして“エッチングによる版画”や“エナメル塗”のような装飾的仕上の過程を学ぶであろう。大きな強調は、生徒自身のデザインとアイデアをもって仕事することに置かれる。

「陶芸と陶器」 いろいろな小鉢、水差、壺等をつくる陶器製造の仕事。この科目はつまみ、とぐる巻、または粘着方法を使う、手だけで意匠される陶器を内容とする。陶器は窯で焼かれ、そして多彩な陶器絵具が使われる。

「彫刻美術」 この科目において、生徒に創作的可能性のより幅広い前途をあたえる企図のために新しい方法・技術および材料を生徒に導入することが望まれる。違った方法をもつ実験が勧められ、そして結果の批評的分析が期待される。

「創作デザインと手芸」 この科目は違った材料をもってデザインをつくることを内容にし、手芸は生徒の趣味によって教えられる。

○「演劇904」 2, 3年

○「演劇905」 4, 5年

演劇の概観科目。自己表現のわれわれの感覚を解放することと、集団および自己の認識を発達させることが企てられる。クラスは演劇小史、脚本読み、クラス内制作およびクラス批評を学習する。宿題は重要で時間をくう。

○「電子工学906」 2-5年

この科目は、電気学の基礎とともに初歩電子工学の技術と理論を包括する。強調は実験と技術におかれる。

この科目は、真空管(ダイオード、三極真空管、X光線、TV等)、変電器、整流器、トランジスター、送信、受信、TV装置等のデザイン、構造、機能、用途、修理の学習を内容にする。

○「環境と地図907」 3, 4, 5年 許可ある外は、これら科目の既習者は選択できない。

「環境の科学」	「地図学」
---------	-------

「環境の科学」 これは、われわれの環境の特色、自然の中の気候と生態の循環および均衡、汚染の理由、その影響と可能な制御手段を学習するプログラムである。これは、特別なテキストでなく、映画、小冊子、新聞用語およびできるだけ野外勉強を使う、一般的な学習である。

「地図学」 これは地図を作る技術の科目である。生徒は地図製作の道具、投影法とその用途、地図と写真の相互作用の構造を紹介されるであろう。

○「映画908」 2, 3年

○「映画909」 4, 5年

映画の成立と発達に興味がある生徒のための、映画の概観科目。芸術の様式としての映画の歴史と進歩についての眺望。多くの宿題、授業時間外の読書、回顧と批評。

○「美術910」 2-5年

絵画、線画、彫刻の個人的発達をさらにいっそう好む者のための科目。油絵やアクリル絵が各種のその他の美術媒体の探求とともに導入される。それは、すでに「芸術516」を取ったが、まだ「芸術518」に登録しようと思わず、両方の間に“連結”期間をもつ者のため、機会を提供する。美術の大学に入学志願している上級生は、「美術910」を取って各自の基礎の上で創作の仕事をすることを歓迎される。

「芸術516」も「芸術518」も取っていない生徒もやはり「美術910」に考慮されてもよい。ただし担当教師との個別的討議の後のみ。

○「指導補助員」 4, 5年 体育科の必要条件を充たす生徒

生徒は、2, 3年の「体育」を成功裡に完成し、リーダーシップとスポーツマンシップを実証し、仲間の尊敬を得ることにより、この科目の資格が与えられるに違いない。完成に生徒は証明書を受取るであろう。

この科目は、手短かにいえば、「体育」の理論ならびに実際の授業時間を含む。

A 理論：1. 科目の目標 2. 「体育」の目標 3. 校内対抗プログラムの編成 チームの選抜、スケジュール、審判員、等 4. 体育の授業の組織と運営 5. 最初の助力

B 実際の様子：1. 小学校および高校2年の体育の授業を経営する手伝い 2. 校内対抗ゲームの運営、3. ゲーム審判の手伝い

○「文芸共同研究グループ912」 2-4年

これは、いろいろな様式の創作の執筆に、また挿絵・広告・漫画・絵入り随筆等の補助的分野に、実験を欲する生徒のための科目である。図画や写真に興味をもち、そしてこれらと書くことを結びつけることに実験したい生徒は、この科目に刺激を見つかるであろう。最終の目標は、生徒の勉強を含む、小冊子の出版である。

○「音楽鑑賞913」 2-5年

音楽文献の雑集、音楽史、作曲のスタイルとフォームおよび音楽媒体（各種の楽器）が学習される。

○「体育509」 5年男子

この科目において生徒は、活動を計画して選択する上で、いちじるしい自由を許され奨励されるであろう。援助は特別な助けを必要とする生徒に与えられよう。体育を履歴にすることに関心を示

す者は、かれらの教授者といっしょに勉強し、そしていくらかの奉職教育をする機会を与えられるであろう。

○「体育510」 5年女子

上の「体育509」と同じ。

○「矯正読書914」 2年

51頁参照

○「裁縫914」 2-5年

参加する生徒の能力に適應させられる被服製作。裁縫の、以前の経験は必須ではないが助けになるであろう。この科目の生徒は当然若干の衣料、模型、その他の小さな必要物を買ねばならない。

○「社会認識916」 3, 4, 5年

この科目は社会における各個人の発達を調べる。われわれは次の項目を取扱う。すなわち、感受性の訓練、人類学と人口抑制、戦争、墮落、政治上の出来事、履歴、宗教と不思議な力、性。その他関連項目が生徒により導入されてもよい。

生徒は当然、若干の授業時間外の読書をし、クラス討議に参加しなければならない。

担当教師は4名。

## Ⅶ 被監督および自主の学習

学校は、限られた人数の生徒に「被監督学習」または「自主学習」の名称をつけられたハーフコースを提供する。生徒は、これらのうち1つに限り、そして親と学校管理者の書類による同意がある場合に限り、許可されることができ。それらは自由な時間ではない。それで、そのようにこれらの時間を使うことの罪を犯した生徒はだれでも、直ちにこの特権を喪失する。

○「被監督学習800」 3, 4, 5年

生徒は、係の教師の監督のもとにリゾース・センターにおいて毎2日1時間を費してもよい。生徒は、履習中の学科に関係した研究課題を当然勉強すべきであり、そして、係の教師が、生徒の勉強の準備のさい若干の援助を与えるように、用意される。これは明かに、生徒がこの1時間に宿題の研究課題を完成することができない、ことを意味しない。

出席がとられる。

○「自主学習801」 4, 5年の選抜された生徒のみ

生徒は、図書館で毎2日1時間を費やし、そこで自主的研究、読書、その他の個人学習をやるであろう。志願者が注意深く審査され、そして、より円熟してまじめな生徒だけがそのようなプログラムに作られることは、当然である。

出席がとられる。

## ケベック州のハイスクールの学習指導要領

ケベック州の教育省初等中等教育局が発表した第1回の高等学校学習指導要領High School Course of Studyは、公式の教育課程を制定し、同時に1972/73年度におけるそれらの緊密な結合とオリエンテーションを説明している。いま、Yearbook 03 1972-1973 Secondary Education (General) For English-language Schoolsによって、ケベック州の高等学校普通科目のカリキュラムを見てみたい。